

稲・大豆作情報 (NO. 1)

1. 水稲作況情報田の生育概況(7月2日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	苗 質			現在の生育状況		
			苗 丈 cm	第1葉鞘高 (cm)	葉 齢 (L)	草 丈 cm	茎 数 本/m ²	主稈 出葉数
夢しずく 佐賀市本庄町	6/15 18.1株/m ²	本 年	13.9	5.3	2.3	31.9	78	5.6
		平 年	16.7	5.9	2.6	30.3	94	5.7
		平年比	(84)低	(89)低	(-0.2)	(105)	(83)少	(-0.1)
さがびより 小城市芦刈町	6/20 18.1株/m ²	本 年	13.7	4.7	4.6	27.3	71	5.3
		平 年	11.9	2.8	3.8	27.9	86	6.0
		平年比	(115)高	(168)高	(+0.8)	(98)	(86)少	(-0.8)
ヒヨクモチ 小城市牛津町	6/27 18.1株/m ²	本 年	12.2	3.6	2.8	12.0	71	3.3
		平 年	14.3	3.6	3.7	19.1	72	4.7
		平年比	(85)低	(100)	(-0.9)※	(63)低	(99)	(-1.4)
概況	移植後に降雨が続き、深水傾向となったため軟弱徒長ぎみに生育している圃場が見受けられる。※ヒヨクモチの葉齢が特に低いのは、播種量を多くした密苗であったため。							

注1) 各品種 前作：麦、前前作：水稲

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる

2. 水稲管理

○今週の管理

- ・初期分けつの確保のため、浅水管理を徹底する。ただし、台風通過前は深水管理とし、通過後は新しい水と入れ替えるが、除草剤を散布して一週間以上経過していない圃場は、落水をしない。また、スクミリンゴガイの発生量が多い圃場においては、状況に応じてスクミノンなどの薬剤散布を行う。さらに、気温が高くなるとともにガスの発生が多くなることが考えられるため、落水してガス交換を促進する。
- ・余り苗はいもち病やウンカの温床になるため、補植作業が終わったら、直ちに除去する。

3. 大豆管理 ～7月になりました。播種前後の天候を見計らって、大豆の播種を行いましょう～

○耕起 ～ 耕起は水分の低い時に、大雨予報の時は無理しない！～

- ・荒起は播種前日～当日に行う。(一旦耕起すると、降雨が続く場合は土壌水分が低下しにくく、晴天が続く場合には乾燥しやすい弊害があるため)
- ・天候が変わりやすい場合には、無理に荒起こしはせず、1工程で浅く耕起して播種する。
- ・耕うんと播種を2台のトラクターで並行して組作業を行えば、晴れ間の作業が可能となるとともに土壌水分を確保しつつ播種が可能になる。

○播種

- ・種子消毒：紫斑病や腐敗防止および発芽率の向上のため、必ず実施する。

・播種量：

播種日	栽植本数 m ² あたり	栽植様式 条間×株間×1株本数	播種量 (kg/10a)
7月1日～5日	10本	75 × 25 × 2	3.0
7月6日～20日	14本	75 × 20 × 2	4.0

・播種深度

播種後2～3日以内に降雨が予想される場合→2cm程度の浅め 鎮圧はしない

播種後1週間以上好天が予想される時や、土壌が乾燥気味の場合→4cm程度の深めかつ鎮圧する

- ・除草剤 播種直後に土壌処理剤を散布し、雑草防除を行う。特に近年問題となっているホオズキの発生が多い圃場においては、「ラクサー乳剤」が効果的である。

30年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：佐賀)

佐城農業改良普及センター

